

旧復急応までの道のり

静岡県沼津市と清水町を結ぶ県道380号富士清水線 黄瀬川大橋は、令和3年7月梅雨前線に伴う大雨により橋脚の一部が沈下し、7月3日から通行止め。国・県・地元建設業者で連携し、作業の安全確保をしながら、損傷した橋梁の床板及び桁の撤去を行い、既存の構造物を活用した形で応急組立橋を設置することで早期の応急復旧を実施。

7/3

黄瀬川大橋被災

被災状況調査

復旧に向けた方針検討

橋脚洗掘対策

支障物撤去

床版切断

床版撤去

橋桁撤去

橋台施工

橋脚撤去

応急組立橋 架設

通行止め解除



黄瀬川大橋被災状況



復旧に向けた方針検討



橋脚洗掘対策として袋詰め玉石設置



上空に高圧線・限られた施工ヤードに550tクレーン設置



床版の撤去



安全を確保しながら早期に被災した桁を撤去



昼夜問わず橋台を施工



河川の流下阻害となるP4橋脚を撤去



応急組立橋を地組し、26日から架設